

市議会だより

9月定例会

- 平成30年度一般会計補正予算案を可決
- 平成29年度一般会計・特別会計・企業会計の決算を認定

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
平成29年度決算の概要及び審査	④・⑤
議決結果・人事案件	⑥
市政に対する一般質問・ 委員会調査報告	⑦～⑬
請願・陳情・意見書・ 視察受け入れ状況	⑭・⑮
市議会案内板	⑯



議案の審議

■一般会計補正予算など31件を議決

9月定例会は、9月7日から10月2日までの26日間開かれ、市長提出議案13件、決算認定案件12件、議員提出議案3件、請願1件、その他2件について審議を行い、議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

⑦平成三十年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ二億九千九百三十四万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ二百八十億六百五十一万二千円とするもの。

主な追加の内容(万円未満切り捨て)

歳入	
繰入金	△6億 600万円
繰越金	6億2,936万円
諸収入	1億2,350万円
地方交付税	1億1,294万円
歳出	
放課後児童対策事業	1,872万円
道路維持管理事業	2,300万円
道路改良事業	1,800万円
小学校運営事業	919万円
小学校施設管理事業	2,568万円
中学校運営事業	163万円

問 放課後児童対策事業の内訳は。

答 西川小学校地内への吾野ひまわりクラブ移設に係る測量、設計委託料等を増額。また、双柳児童クラブ増築に係る工事請負費は、早く分割するため実施設計と工事を当初予算に計上したが、詳細な金額が出たため増額した。

問 道路改良事業の宮沢湖入口交差点改良負担金について。

答 メツツア開発の交通協議では右折帯設置は必要ないとのことだったが、地元要望、入間市・日高市から渋滞を懸念する意見があり、本市から事業者に右折帯設置を強く要請した中で、設置することとなり、交差点から宮沢湖へ進入する市道の拡幅工事費用として本市が事業者負担金を出すもの。

(反対・賛成討論あり)

⑥7 飯能市議会議員及び飯能市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例

問 選挙運動用自動車の使用等に要する経費に係る公営車両等を引き上げるとともに、公職選挙法の一部が改正されたことに伴い、本市の市議会議員の選挙においても候補者の選挙運動用ビラの作成を公営とするため提案するもの。

答 条例改正の背景は、総務大臣等へ全国都道府県議会連合会や全国市議会から意見書が提出された背景で法改正に至ったものと考えられる。

⑥8 飯能市立学校設置条例等の一部を改正する条例

施設隣接型小中一貫校の設置に伴い、飯能市立学校設置条例において飯能市立東吾野小学校、飯能市立西川小学校及び飯能市立吾野小学校を統合するため廃止し、飯能市立奥武蔵小学校として新たに設置し、及び飯能市立吾野中学校を廃止し、飯能市立奥武蔵中学校として新たに設置するとともに、飯能市給食共同調理場条例において、飯能市西川給食共同調理場の名称を改めるため提案するもの。

問 住民の方々と協議を重ねてこられたと思う。その経過について伺う。

答 新たな学校づくりを進めるなかで、魅力ある学校づくり、地域づくり、定住人口を視野に入れ取り組み、保育所も隣接していることから、この地域で一体的に子供たちを育てていく仕組みを作っていくという協議会の意見をいただいた。各地域への説明会も開き、統合、施設隣接型小中一貫校の開校を決定した。

問 学力世界一のフィンランドの教育から学ぶ学校づくりの具体的な内容は。

答 フィンランドは共同な学びに世界でもいち早く取り組み、児童・生徒数、小中一貫教育面での共通点、ICT活用、読書好きな国民の育成と国力の向上でも学ぶべき点が多い。

⑦7 契約の締結について

飯能市公共下水道笠縫雨水幹線建設工事について、日本下水道事業団と委託に関する基本協定を締結するため提案するもの。

問 委託金額十七億円の積算根拠は。

答 設計を精査した。十七億円を上限に、五年間で工事を進めていく。

問 費用、期間、規模が大きくな事業だが契約に至る経緯は。

答 近年の局地的な集中豪雨等における雨水流出量の増大等により、人命や社会生活に大きな影響を与える雨水被害等が全国的に発生している。笠縫土地区画整理事業地内の調整池でも溢水する事態が発生しており、当該事業地内の雨水対策が喫緊の課題となった。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査するため、総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。9月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号（順不同）

総務委員会

●**67** 飯能市議会議員及び飯能市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例
(反対討論あり)

●公職選挙法施行令に規定されている公営単価等の改正により、同施行令の基準額に準じて、本市の市議会議員選挙及び市長選挙にかかる選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成に要する経費について、公営単価及び限度額を引き上げるものであること。

●選挙運動用ビラの公営については、市長の選挙のみ認められていたが、公職選挙法の一部が改正され、平成三十一年三月一日以降に告示される選挙については、本市の市議会議員の選挙においても選挙運動用ビラの作成を公営とするものであること。
(反対討論あり)

●**70** 平成三十一年度飯能市一般会計補正予算（第二号）

●寄附金は、武藤文夫氏からの寄附金を農業振興寄附金及び社会福祉寄附金として、新電元工業株式会社及び匿名を希望する法人からの寄附金をまち・ひと・しごと創生寄附活用事業寄附金として計上するものであること。

こと。

●繰入金は、財政調整基金、公共施設整備基金及びムーミン基金からの繰入金を補正し、繰越金は、前年度繰越金の全額を計上するものであること。
(反対討論あり)

厚生文教委員会

●**68** 飯能市立学校設置条例等の一部を改正する条例

●施設隣接型小中一貫校開校準備委員会が学校名の募集を行い、地域の方々から百件の応募があったこと。

●小・中学校の正式名称は条例で定め、「奥武蔵創造学園」は通称名のため規則で定めること。

●スクールバスは、吾野小学校から西川小学校までの間が延伸となり三力所程度バス停を増やし、東吾野小学校は新たな運行で七力所程度のバス停を置く予定であること。

●**69** 飯能市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

●限られた財源のなか、今後も安定的な制度運営を維持していくため、医療費負担が可能な一定以上の所得のある方にはご負担いただき、負担の公平性を図る必要があり、県の所得制限を導入する制度改正に合わせて条例を改正するもの。

例を改正するものであること。
(反対討論あり)

●**71** 平成三十一年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

●国民健康保険事業費納付金については、平成二十九年十一月末に県から示された仮算定結果に基づき当初予算を計上し、その後、平成三十年一月末に示された本算定結果に合わせて、七百五十万円の増額補正をするものであること。

●子供の均等割軽減について平成三十一年度の実施の市町村があるが、本市独自の政策として子供の均等割軽減は考えておらず、全国市長会において国による財政支援を要望していること。

経済建設委員会

●**70** 平成三十一年度飯能市一般会計補正予算（第二号）

●市道一五号線舗装打替工事は、地域要望もあり、社会資本整備交付金により三年程度で行う予定を、ムーミン基金を充当しメッツァグラントオープンまでに終わらせる予定であること。

●クリーンセンターの廃ガラス運搬処分委託料は、新しい施設の破砕機設置や設備メン

テナンス等を考慮した仕様にした結果、手選別による分別が多くなり処分量が増えて補正となったこと。

●**73** 市道路線の廃止について
●**74** 市道路線の認定について
(大字飯能地内)

●国道二九九号バイパスの開通により旧道となる国道二九九号の現道は、本市と日高市の両市にまたがっており、九月定例会に向けて埼玉県との協議で認定条件が整ったため本市では上程したこと。

●**75** 市道路線の廃止について
●**76** 市道路線の認定について
(大字中山・大字宮沢・大字中居地内)

●メッツァの開発に係るもので、廃止道路は事業者管理となるが、ため池の一部として利用できること。夜間は防犯上から一般の通行はできなくなるため、その部分を除き市道認定したこと。

●**77** 契約の締結について

●区画整理事務所付近調整池から入間川吐口までの区間内、約八一五メートルが工事範囲、管の深さは土被りが平均七〜八メートルで推進工法を採用すること。

決算の概要・審査

平成29年度各会計(一般・特別・企業)決算を認定いたしました

今定例会に市長から提出された平成29年度一般会計・特別会計・企業会計の決算(認定第1号～認定第12号)については、総務・厚生文教・経済建設委員会に付託され、会期中に3日間慎重な審査を行い、委員会、本会議でいずれも認定いたしました。

主な内容は次のとおりです。

各会計の決算書とその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その内容、数値は関係諸帳簿及び証書類と符合し、適正なものと認め

特別会計歳入歳出決算額

歳入	231億9,100万2,685円
歳出	221億7,805万9,926円
実質収支※1	9億9,743万9,759円
単年度収支※2	1億5,632万1,784円

※1…翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの
※2…前年度の実質収支を差し引いたもの

一般会計歳入歳出決算額

歳入	341億7,059万9,692円
歳出	328億1,500万7,928円
実質収支※1	12億3,536万9,724円
単年度収支※2	△3,228万4,376円

※1…翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの
※2…前年度の実質収支を差し引いたもの

一般会計・特別会計決算の概要
(監査委員の決算審査意見書から抜粋)

られた。

国内の経済状況は緩やかな回復基調とされるものの、今後の市の行財政運営を展望したとき、企業誘致に伴う税収の増加や、ふるさと納税の推進による寄付金の増加は、自主財源の確保として評価できる。しかし、人口減少や少子・高齢化による行財政運営に対する圧迫や、公共施設等の老朽化対策などを考えると、依然として厳しい財政状況が続くものと推測される。引き続き、財政健全化に取り組みむとともに、限りある財源を最大限有効に活用し、効率的で効果的な予算執行に努め、発展都市に飛躍するため積極的な事業展開を望むものである。

第五次飯能市総合振興計画や飯能市地域創生プログラム(まち・ひと・しごと創生総合戦略)に基づいて、意欲的に事業に取り組むことで、賑わいと活力のある飯能市を創造されたい。社会経済情勢の変化を的確に把握し、将来を見据えた事業の選択と重点化により、市民満足度の高い行政サービスを提供されることを切望して意見とする。

決算審査

一般会計

●法人市民税は、前年度比八・四%の減収で、日銀の超低金利

政策により金融・保険業で三千六百万円減収、円高の影響で輸出産業の電気・精密業が減収となったことが要因であること。

●収納対策では、現年課税分に重きを置き、納期を過ぎたものは督促状、電話催告等を行い、その間に納税相談を行っていること。丁寧な納税相談を行い、早い段階であれば分割納付などの対応をとっていること。

●市債は前年度比で数%伸びているが、ごみ処理施設建設事業によるもので、平成三十年度にはないこと。

●経常収支比率が九四・三%と一〇〇%近くに近づいているが、扶助費増加、公債費償還等の影響であり、県内自治体も同様の傾向であること。

●公共施設整備基金残高は約八億円で、約十億円を目安に運用していくこと。

●メツツア事業負担金一億五千万円、飯能地域資源利活用合同会社出資金五千万円について、地元業者への発注や市民の優先雇用がされ、市への相当な経済効果があると考えられていること。

●児童虐待相談四十八件のうち、身体的虐待二十件、ネグレクト十五件、心理的虐待十二件、性的虐待一件であったこと。

●保育所緊急整備事業補助金と認定こども園整備事業費補助金は、さゆり幼稚園の整備に交付し、交付合計額は放課後児童クラブ分も含めて合計四億五千二百六十八万円であること。

●自立相談支援事業では、相談六十八件、新規プラン作成十五件、就労支援対象者は十人で六人が就労を開始したこと。

●森の番人八人を雇用し、千三百三十八ヘクタールの市有林管理のほか、森林や林業の大切さを伝える取り組み、森林ボランティア活動や市民の林業体験指導等の普及啓発活動にも取り組んでいること。

●農のある暮らし「飯能住まい」は、五組、十六人が認定を受け、内訳は家庭菜園型四組、農地取得型一組であること。

●ビジット・ジャパン地方連携事業の負担金五十万円で、海外での旅行博出展、海外の旅行会社との商談や視察ツアーを行い、トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園へ団体客に来ていただいていること。

●大雪被害では、三日間で除雪費用は約千万円となり、予備費から六百九十二万円を充用し、十六社で除雪対応をいただいていること。

●空き家バンクは、成約が九件、移住者が二十三人の実績であったこと。

▼討論

反対の立場

財政運営の基盤を強化するために改善が必要であること、阿須山中土地有効活用事業において、選定された事業者の今後の動向が不明確であり、以前の自然公園の計画の方がより良いものであること、学校給食の民間委託を推進していることは認められないこと、飯能河原のトイレ建設について、執行部から説明不足だったとの謝罪はあったが、議会として審議権を奪われる形となったこと、(仮称)飯能大河原線整備事業が停滞していることなどから、反対する。

賛成の立場

飯能河原のトイレ建設について



(仮称) 飯能大河原線

では、本会議において重ね重ね陳謝があり、今後このようなことがないよう反省していることや、より良い予算執行をしていただくということでも良かったこと、(仮称)飯能大河原線ができ

ることで狭山日高インターから大河原工業団地に向かうアクセスが飛躍的に良くなり、美杉台の住宅街を抜けずに大型車両が通行できるようになることで地域の住環境改善に寄与することなどから、賛成する。

国民健康保険特別会計

●国民健康保険の加入者数は、前年度比八百三十八人の減で、一番の理由は七十五歳になり後期高齢者医療制度に移行したものと考えていること。

●保険料の滞納状況は、所得二百万円以下の世帯が六五%、うち三八・六%は所得百万円以下の世帯で、低所得世帯の占める割合が高いこと。

下水道特別会計

●阿須汚水中継ポンプ場が平成二十九年年度に完成し、市東部幹線整備が概ね一〇〇%完了。浄化センターから樁本チエインまでの幹線が整備され、今後は枝線の整備が進められるようになったこと。

●水質検査委託業では、河川への放流水質検査結果は基準値以下

内で、合流改善事業による効果が表れていること。

●公営企業化後も繰入金の公費負担分の取り扱いは変わらず、企業の経営努力、経営改善に取り組んでいくこと。

●下水道施設の耐震診断調査を平成二十九年年度から進めており、耐震性能を有していない管きよや浄化センター施設の耐震工事を進めていくこと。

笠縫土地区画整理特別会計

●保留地四百八十画地中、一般保留地二十二画地、随意契約画地二百三十画地が処分済みであること。

●土地の販売が難しくなっている中で、ハウスメーカー等が転売目的でも購入できるように規則を改正したこと。

介護保険特別会計

●不能欠損の対象は、二百六十五人で、財産や収入が少ないなど保険料の納入が期待できない方が約七六%を占め、それ以外は生活保護世帯や所在不明世帯となっていること。

●総合事業の対象者は百八十三人で、単価設定は九割設定としていること。

後期高齢者医療特別会計

●本市の被保険者数は、平成二十九年年度末で前年度より三百三十人増えていること。

●納付金の増額は、被保険者数が増えたことによる保険料の増や軽減対象者が増えたことによる保険基金安定繰入金の増によるものであること。

水道事業会計決算の概要

(監査委員の決算審査意見書から抜粋)

給水人口の減少が続いていることから、来年度以降も給水収益の減少が見込まれる。引き続き、老朽施設の更新や機能の向上、施設の耐震化などに多額の資金を要することなどから、今後も水道事業経営は厳しい状況にあると言える。

これからの事業経営に当たっては、「飯能市水道ビジョン(経営戦略プラン)」、「飯能市水道事業中期経営計画(平成二十八(三十二年度)に基づき、今後も経費削減と財源の確保によって事業経営の安定化を図り、市民生活に欠くことのできない水道水の安定的な供給に努められるとともに、施設、設備の適正な維持管理を実施し、水道水の安全を確保されることを希望して意見とする。

水道事業会計

●漏水対策は、精明地区と第二区地区で調査を実施したこと。
●将来の経営の安定化や今後の

工事の更新から、借入残高に至るまでの余剰金については、減債積立金に積立て、企業債の償還に充てることで自己資本金を増やすことを考えていること。

●小岩井地内導送水管布設工事については、口径が六百ミリメートルと大きい管であったことから、製作に時間を要したことや通行止めをし工事を行わなければならず、地元との調整に日数を要したため繰越となったこと。

▼討論

反対の立場

十二万人都市構想のなかで、有間ダムについて多大な経費負担をしているが、人口が追い付いていかない状況であり、飯能市のおいしい水を飲みたいという、地域の皆さんの願いを考えると、県水を縮小していく具体的な計画が示されず、五千五百立方メートルの計画水量を計画どおり取っていくということから、反対する。

賛成の立場

安全でおいしい水を安定的に供給することは水道事業者の責務であり、入間川水系と県水の荒川水系の二つの供給水系を持つことは、危機管理上、給水事業の安定性が図れるという点で大変重要であることから、賛成する。

平成30年9月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案・認定等

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決結果
		新井重治	坂井悦子	関田直子	大津力	野口和彦	内田健次	平沼弘	栗原義幸	中元太	松橋律子	滝沢利子	山田利子	新井巧	金子敏江	加藤由貴夫	砂長恒夫	鳥居誠明	加浦弘貴	野田直人	
67	飯能市議会議員及び飯能市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
69	飯能市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	原案可決
70	平成30年度飯能市一般会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
認定1	平成29年度飯能市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	認定
認定2	平成29年度飯能市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定9	平成29年度飯能市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定10	平成29年度飯能市後高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定11	平成29年度飯能市訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定12	平成29年度飯能市水道事業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	認定

※野田直人議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案・認定等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
68	飯能市立学校設置条例等の一部を改正する条例	原案可決
71	平成30年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
72	平成30年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
73	市道路線の廃止について(大字飯能地内)	原案可決
74	市道路線の認定について(大字飯能地内)	原案可決
75	市道路線の廃止について(大字中山・大字宮沢・大字中居地内)	原案可決
76	市道路線の認定について(大字中山・大字宮沢・大字中居地内)	原案可決
77	契約の締結について(飯能市公共下水道笠縫雨水幹線建設工事)	原案可決
78	平成29年度飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
認定3	平成29年度飯能市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定4	平成29年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定5	平成29年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定6	平成29年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定7	平成29年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定8	平成29年度飯能市特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
請願3	東海第二原発の運転期間延長を認可しないよう原子力規制委員会に求める意見書の提出に関する請願	趣旨採択
	特定事件の閉会中における継続調査申し出の件(総務委員会・厚生文教委員会・経済建設委員会)	申出書のとおり
	議員派遣の件	派遣
79	教育委員会委員の任命について(五江渕 幸子氏)	同意
議提8	学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書	原案可決
議提9	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	原案可決
議提10	水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書	原案可決



五江渕 幸子氏

⑦教育委員会委員小見山実氏が任期満了となるので、新たに五江渕幸子氏を任命することに、全員同意しました。

⑦教育委員会委員の任命について

人事案件



関田 直子 (NEXTはんのう)

子どもの心と命を守る体制について
～現状と様々な取り組み～

問 平成29年度の児童相談所への相談通告件数は約13万件と過去最多。国では痛ましい事態に向け強化プラン策定の動きがある。市の実態は。

答 家庭児童相談室への虐待に関する相談は、平成28年度55件、平成29年度48件で、内訳は身体的虐待20件、ネグレクト15件、心理的虐待12件、性的虐待1件。傾向は、身体的が増加、面前DV等心理的が減少傾向。育児全般の相談数は増加し、虐待相談は前年度比で減少。

問 支援が必要とされる家族が転居の際、近隣市との情報共有、連携について伺う。

答 文章での引継ぎに加え、電話による情報提供により支援の空白期間が生じないように対応。特に相互の転入転出が多いダイアプラン構成市では定期的に情報共有・意見交換会をしている。

問 自殺相談においてはSNSを利用した相談窓口がある。東京都は児童虐待相談窓口の一つとしてLINE(株)と連携協定を締結した。埼玉県のSNSを活用した相談窓口の取り組みと、市の考えを伺う。

答 県では児童、高齢者、障害者虐待を一元化した虐待通報ダイヤル「#7171」を本年10月から運用開始。SNS利用の動きは現在なし。市では通話料無料の「児童虐待防止・相談ホットライン」を開設。SNSは文章だけで相談者の心理状態まで推測しにくいデメリットはあるが、まずは悩みを聞いて欲しいという、子育て世代・児童生徒の悩みを幅広く聞くことができると考える。市は人と人とのつながりを大切に、相談しやすい環境づくりに取り組む。

問 11月は「児童虐待防止推進月間」である。キャンペーンカラーの「オレンジ色」を割岩橋のライトアップに採用し、市民が子どもの心や命について話すきっかけ作りをしてはどうか。

答 各地の事例を参考にし、所管部署と連携する。



地域住民の取り組み 市内の子ども食堂



市政に対する



一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。
質問する議員は、質問内容を事前に通告します。本会議における持ち時間は一人一時間です。
原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は十二人の議員が登壇しました。
一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。



中元 太 (公明党)

緊急輸送道路「清川橋」架け替えを狭山PAにスマートインターをコミュニティ・スクールの導入を

問 架設約60年の清川橋。緊急輸送道路にも指定されている。長年の地域住民の要望でもある清川橋の架け替えを。

答 防災上も非常に重要な橋であると認識。点検結果を鑑み、来年度から着手着工する。

問 メッツァ開業前に心配になるのが道路渋滞。精明小学校付近は交通事故を防ぐためにも国道463号バイパス側からの誘導が必要である。広域行政での街づくりを考えた時、狭山PAにスマートインターは必要だと思うが。

答 広域的な課題として取り組む必要がある。9月19日、石井国土交通大臣と、飯能市、所沢市、狭山市、入間市、日高市の市長との意見交換の場があり、ダイヤ圏域全体の発展のため、狭山PAスマートインター設置の要望を行った。本市にとって、今後の街づくりに大きな影響を与えるもの。各市と意見交換を密に取り組んでいく。

問 子どもとは、そのまちの宝であり、宝を育む、教育こそそのまちの将来を決める最も重要な事業であり、子どもは次代を映す鏡である。地域と共に子どもを育み、学校が地域の拠点となるコミュニティ・スクールの導入が飯能市の教育にも必要だと思うが。

答 保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクール。学校・家庭・地域が一体となって、社会総掛かりでの教育を実現し、児童生徒を育てていくことが求められている。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の組織を確立・運営していくために、教育委員会としてもしっかりと準備し、導入していく。

その他 その他、土砂災害タイムライン導入や小中学校に防犯カメラ設置、公用車にドライブレコーダ設置、新しい森林経営管理制度やフレイル予防について質した。



清川橋



野口 和彦 (NEXTはんのう)

職員の変革、組織の改革、行政システムの改革について

問 新たな人事評価システムによる成果は。

答 全員が組織目標の設定に関わることで、職員の自主性が喚起され、意識改革に繋がっている。

問 戦略的な組織機構の見直しによる成果は。

答 地方創生推進室を設置したことにより、メッツァ誘致に成功。賑わい創出課を設置したことにより、ふるさと納税は平成27年度実績の63倍となる2億5,089万円の実績が出た。情報戦略課を設置したことにより、各種メディアや電車などの車内広告に戦略的な情報発信をし、効果的なシティプロモーションができています。

問 ワンストップ市役所総合窓口サービス導入の検討状況は。

答 システム改修やレイアウト変更など、コストや場所、職員の配置など課題が多いが、市民サービス向上のため、引き続き検討する。

問 職員のボトムアップでの取り組み内容は。

答 ふるさと納税の返礼品のラインナップや、北欧デザインを婚姻届に取り入れるなどのアイデアを採用している。

問 つくば市では、マイナンバーカードとブロックチェーンを活用したインターネット投票を実施している。飯能市でも最新技術による業務の効率化を進める必要があると思うがいかがか。

答 市民サービスの向上と事務の効率化を図るためこれからも研究していく。

問 以前から提案している、コミュニティハウスプロジェクトとそれを実現させる自治体PPSの検討状況は。

答 理念には賛同する。地域にある社会資源を活用できないか検討中である。

問 図書館や市民会館、保育所など民間委託の検討の進捗状況は。

答 指定管理者制度を導入することも有益な施設と考えられるので、引き続き検討していく。



飯能市役所





加涌 弘貴 (無所属)

災害に強いまちづくり
震災対策の充実について

問 甚大な自然災害が多発している。耐震化されていない指定避難所の中には保育所も含まれている。安全性を高める早期の改修をお願いしたい。災害時の非常食料や飲料水を備蓄し、緊急支援物資を受け入れることができるのも安全な避難施設があつてこそ。今後の改修計画は。それまでは耐震性のある民間施設を一時的に避難所に利用させていただくなど喫緊の対策を。また、長期の大規模停電に備え避難所への自家発電装置設置の見解は。

答 未耐震の施設は行政センター5か所、保育所4か所。公共施設等総合管理計画に基づき優先度の高いところから進めていくが、民間施設にも避難所としての協力を働きかけたい。また、避難所に可搬型非常用発電機の設置を進める。

問 通学路など道路に面し被害を及ぼす可能性のある危険なブロック塀について耐震診断の働きかけや新たな補助制度創設の見解は。

答 平成23年度に調査を行い危険性のある所については文書で改善をお願いした。また、8月号の広報でも安全点検をお願いした。県内自治体10市が補助制度を導入又は予定している。安心安全のための方策を検討したい。

問 過去の震災では住宅は無傷でも箆笥など家具の下敷きで亡くなる方も多かった。家具転倒防止器具の普及促進が被害を減らし減災につながる。普及の状況は。また、自力で取付けが困難な高齢者世帯や障害をお持ちの方、災害時要援護者リストに登録している世帯だけでも補助対象とし普及促進の対策をお願いしたいが。

答 建物の耐震化だけでなく家具等の転倒防止対策は重要。高齢者、障害者世帯などへの普及状況について確認できていないが、支援策の創設について情報収集を進めると共に、防災や福祉の担当部署とも協議していきたい。



取付け簡単な家具転倒防止器具



金子 敏江 (日本共産党)

清川橋の架け替えが来年度から
県水の協定見直しを 将来的に
日量2,200 t 減量は可能だ

問 前ヶ貫と落合を結ぶ成木川に架かる橋が清川橋。昭和34年9月15日竣工の橋で60年目を迎える。20年以上前に起きた橋上での悲劇の事故を2度と繰り返してはならないと、橋の拡幅や歩道を備えた橋の架け替えを繰り返し求めてきた。平成24年度に「飯能市総合振興計画実施計画」に位置づけられながら、絶ち切れになってしまった。一度は実施計画に位置づけられた橋である。早期の架け替えが求められる。2月の点検・調査結果はどうであったか。今後の整備方針はどうか。

答 点検結果を受けて精査した結果、4段階中3段階であった。3段階というのは、「早期措置段階」で、橋脚・橋桁に劣化が認められた。この結果を尊重し、来年より着手・着工したい。

問 飯能市の水道水は、良質でおいしい水源の水だ。しかし市は、12万人都市構想により導入した県水を日量5,500 tまで県から受水する契約を結んで、現在日量4,000 t、年間約9千万円で購入している。市は今後、小岩井浄水場と県水の2系統で飯能の水を賄うとしているが、市の計画に沿って考えても県水は縮小できる。今後の人口減少や一人当たりの使用量が減っていることと併せて、漏水を改善し、小岩井浄水場の稼働率アップで飯能の水に相当の余力が生まれ、結果、県水を日量2,200 tの減量が可能になると推計したが見解はどうか。

答 漏水の改善には今後も全力で取り組んでいきたい。本郷浄水場休止後の小岩井浄水場の稼働率は、66.3%で計画している。施設に適した稼働率であると、稼働率は80%を超え、施設に負荷がかかる。県水については、全体の水需要や緊急時の受水も想定し、適切な水量を見極めていく。漏水が改善しても一概に県水減量とはいかない。



清川橋





新井 重治 (清風会)

区画整理事業について(岩沢地区)
阿須山中土地有効活用事業について
清川橋について

- 問** 岩沢地区は事業見直しから10年を迎える。事業期間20年間は地権者との約束である。今後の事業展開及び見直しについて伺う。
- 答** 今まで、地区内の幹線道路整備を中心に取り組んできた。今後も幹線道路を優先に取り組み、生活道路についても整備推進を図っていく。
- 問** 地区内には狭隘道路が大変多く、住民は毎日の生活に困っている。下水道の整備と共に1日も早くこの様な状況を解消していただきたいが。
- 答** まずは幹線道路整備を推進し、狭隘道路についても今後緊急性等を考慮し整備に取り組む。
- 問** 地権者への情報提供が不足していると思うが、定期的に説明会等実施していただきたいが。
- 答** 今年度は事業見直しから10年目となる節目の年であるため、機会を設けるよう検討する。
- 問** 阿須山中土地有効活用事業は計画内容を見ると、大きな造成工事を伴うと思う。防災面等しっかりとした協議及び指導が重要である。また、排水計画や進入路等についても地元住民は不安である。どのように対応するのか。
- 答** 関係法令等に基づき、既に埼玉県と協議に入っている。また、飯能市開発指導要綱に基づく事前協議も必要と考える。進入路等計画内容については、今後事業主から地元説明を行う予定。
- 問** 清川橋の橋梁点検の結果及び判定はどのような結論が出されたのか。
- 答** 今回の点検では橋脚や橋桁にコンクリートの劣化が多く見受けられ、それらの損傷は橋の本体構造であり、大規模な対策工事が必要との結果で判定は4段階区分の3段階であった。
- 問** 今後の維持管理に係るライフサイクルコストと架け替えに係る経費の比較検討の結果、清川橋の方向性は。
- 答** 今回の調査結果を受け、清川橋は来年度から架け替えに向け取り組む。



架設から約60年経過の清川橋



松橋 律子 (公明党)

地方公会計導入で見たこと
対価を生む公共施設について
県道飯能下名栗線の交通事故解消を

- 問** 公会計制度改革は、財務諸表の作成を通し、職員の意識改革、事業改革にも繋がった。公共施設マネジメントと公会計は一体であり、公共施設の有効活用また、今後のアセットマネジメントへの活用が図れると言われていることから、対価を生む公共施設のあり方として2点提案したい。1点目は、市民会館休憩室の有効利用として、イベント時には観光案内所が入り、飯能みやげの販売を。また、平時はその場で食べられるカップ麺やうどん、コーヒー等のドリンクバーの自動販売機があっても良いと考えるが。2点目は、市民会館周辺やトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園は駐車場が無料だが、今後は多くの人が駐車場を利用することから、維持管理上、有料化の考えも必要である。日高市の巾着田では、既にコインパーキングが設置され、有料化されている。また、免許証保持者の市民希望者には、無料磁気カードが発行されている。本市も検討すべきと思うが。
- 答** 周辺駐車場の維持管理費は、年間で中央公園が約80,000円、市民会館が約520,000円(主催事業での駐車場誘導員)、山手用地が約60,000円(除草)である。提案は、参考または研究していく。
- 問** 県道飯能下名栗線の久須美では、民家の塀やガードレールに衝突する単独事故も多く、住民は不安であるが対策は。
- 答** 今年に入り周辺も含め、2件の人身事故と4件の物損事故が発生している。多くは夜間に発生していることから県に働きかけ、対策を検討する。
- 問** 飯能中央地区行政センターの外階段は、高齢者には危険な階段であることから、表示などで事故防止を検討すべきでは。
- 答** 安全対策の表示を検討していく。



巾着田のコインパーキング





新井 巧 (日本共産党)

20億円で取得の
阿須山中の山林
無謀な計画の再考を

問 市土地開発公社所有の阿須山中の山林17ヘクタールを平成24年度から20億円で10年間で買って買戻している山林の活用について、市は「阿須山中土地有効活用事業」として民間から提案を公募した。市内でサッカーやダンススクール事業をすすめる「一般社団法人飯能インターナショナル・スポーツアカデミー」が、公式戦可能なサッカー場運営を、大規模太陽光発電施設を設けた事業収入で賄うとした提案が最優秀として認められた。この事業者に年間87万円で貸付けることで、現在、協議が行われている。進捗状況と今後のスケジュール、地元説明会は、いつ頃を考えているか。また、今年の豪雨災害において、太陽光発電の被害が多数見られた。市はどのように把握しているか。

答 平成30年度に測量、設計、図面の作成、メガソーラー手続き、平成31年度からグランド整備に着手、平成33年度に完成を目指している。進入道路については、阿須自治会館からの市道は幅員も狭く、周辺住民の生活道路となっていることから、使用しないことを前提に調査・検討を進めている。これらの一切の負担は事業者の責任で行う。地元説明会は、設計等の方向がまとまった時点で速やかに開催するよう指導していく。また、西日本豪雨ではメガソーラーも甚大な災害の一因であり、山肌に設置されたパネルが流れ落ちたり、感電の恐れがあることなどを確認している。災害対策は大変重要なことで、しっかりした対策、対応を指導していきたい。

問 無謀な計画をやめ、身近で貴重な里山として、地元で整備している遊歩道などと歩調を合わせて、整備する必要があるのではないか。

答 庁内で様々な視点から協議した結果、「市有資産に関する民間事業者提案制度」を活用し、地方創生に資する活用を図ることにしている。



豪雨災害で被害の太陽光発電施設



鳥居 誠明 (清風会)

豪雨災害・地震災害について
運動公園のトイレ、障害者参加の
体育祭について他

問 西日本豪雨で亡くなった方の9割が1階で、高齢者、障害者の人が殆ど。市はどう考えるか。

答 市の指示待ちでなく、自ら避難する自助が原則。

問 中小河川も氾濫したら危険。場所の把握は。

答 氾濫は想定していないが、溢水場所は承知。

問 水位計は、どの河川に何個設置してあるのか。

答 入間川に5個、高麗川、成木川に各1個設置。

問 有間ダムの放流は、どの状況で行われるのか。

答 自然に容量調節する方式で事前放流はしない。

問 河川沿いにガードレールや柵、側溝の蓋がない所は冠水時に危険。その様な場所の把握は。

答 芦荻場地内は承知。他地区は今後調査する。

問 市街地冠水対策に公共用地の地下に調整池を。

答 双柳北部、青木地区に貯留浸透施設を計画中。

問 地震ハザードマップで宮沢湖に震度6強があるが。

答 避難マニュアル作成中。10月に訓練を計画。

問 中山、中居、宮沢、小久保、下加治地区へ周知は。

答 家の安全対策、備蓄など出前講座で周知する。

問 宮沢湖周辺で震度6強が発生すると、近くに消防署がある。付近の道路は不通で出勤不可では。

答 広域連携や、警察、自衛隊への派遣要請で対応。

問 防災訓練の想定条件は冬の午後6時、風速8m、震度6強。冬に訓練している所が殆どないが。

答 地区の実状に沿った訓練を実施。啓発する。

問 家から避難の際座布団があると余震等に有効だが。

答 避難される際、必要な物は各自日頃から備えを。

問 防災訓練は学校、PTAと地域が連携を。

答 学校の避難訓練に地域の参加、連携を指導。

問 岩沢、阿須、美杉台運動公園のトイレ計画は。

答 簡易トイレを岩沢に3基、阿須に2基設置した。美杉台については他の部署と協議して考える。

問 市内の体育祭に障害者も参加できる競技を。

答 学校では行っている。地区体育祭は検討する。

問 グランドゴルフが近年盛ん。専用の用地を。

答 専用用地確保は困難。現有の施設の活用を。



旧芦刈温泉前





滝沢 修（日本共産党）

日米地位協定の見直しを国に求め
特殊作戦機CV-22オスプレイの
横田基地配備は撤回を

問 4月5日、横田基地に初飛来したCV-22オスプレイは、7月初旬から基地に常駐し、飯能市上空でも頻繁に目撃され、夜間も9時半頃まで訓練が行われている。原市場や南高麗方面での目撃情報も増えている。10月1日から正式配備となるが、現状をどの様に考えているか。

答 市としては、CV-22オスプレイの安全性について、米軍や国から十分説明がなされているとは考えていない。8月に、飯能市・日高市・入間市により発表した、横田飛行場への正式配備に対するコメントの中でも言及し、北関東防衛局職員にも口頭で要請を行っている。市は一貫して詳細な説明を求めている。

問 日米地位協定は1960年に締結された。しかし、その後見直しはされていない。全国知事会は7月に、日米地位協定を抜本的に見直し、航空法や環境法令などの国内法を原則として米軍にも適用させるなどの提言をまとめた。市としても県の基地対策協議会などを通じて、国や米国政府に求めていくべきではないか。

答 提言内容については承知している。横田飛行場に限定して要望している埼玉県基地対策協議会などの方が、より詳細で強い内容となっているところもある。今後、関係自治体や関連団体の動向を注視しながら要望や要請等に生かしていきたい。

問 CV-22オスプレイは特殊作戦機であり、そのための訓練が上空で行われることになる。市民の不安は増す一方となる。配備の撤回を求めるべきではないか。

答 オスプレイの配備や撤回については、日米安全保障体制のことであり、国の専管事項で答弁は差し控えるが、市民の生命、財産を守る観点から、情報提供や日米合同委員会合意の遵守等、要望すべきことは率先して意見を述べていく。



CV-22オスプレイ



山田 利子（日本共産党）

待機児童ゼロ対策について
公立保育所の施設整備を

問 待機児童は深刻で毎議会のように対策を求めてきた。やっと、緊急対策として、10月から山手保育所で30名を受け入れることになり、正規保育士を7名増やす計画は大いに評価するが、まだ、入所できない児童や新たな入所申請もあったと思うが状況と対応は。

答 待機児童緊急対応策だが、保育士の応募者が少なく、そのうち1名採用、保育課の保育士資格を持つ職員1名で、1歳児5名、2歳児5名を受け入れる。6名応募があったが、誰でもいいというわけにはいかない。しっかりした職員を採用するのも子どものためだと思っている。

問 とんでもない事態ではないか。10名が入れても、入れない児童はまだいる。来年10月から保育料無償化の中では、ますます増える。公立保育所は、一般財源化され施設整備できないと言うが、児童福祉法24条（保育の実施責任義務）に基づいて公的保育所の整備をすべき。国会答弁でも、高市早苗総務大臣が「施設整備費・運営費については、今までのように交付税で措置される」と答弁しているが。

答 公立保育所への2分の1の国の手当ては変わらないが、その後の職員の確保や運営費の問題を考えて整備しなければならない。

問 運営費は交付税の算定中にある。他の事業も交付税措置されることが前提。保育所が例外ではないはずだが。

答 交付税が満額になるとは考えられない。大臣が答弁したかは不明だが、飯能市のために満額交付するという補償や担保がないとできない。

問 保育士不足を解消するために、臨時保育士の賃金も含めた処遇を大幅改善すべきでは。さらに、臨時保育士を順次、正規保育士に切り替えるべきではないか。

答 報酬は近隣市と比べて平均的な額である。



山手保育所



坂井 悦子（日本維新の会）



入札等契約や調達について
小中一貫校開校後の
行政資産活用について

- 問** 入札に係る談合がないよう、どのような入札制度改革や運用の改善をしているか。
- 答** 予定価格、最低制限価格、調査基準価格、失格基準価格を事後公表とし、談合が行われにくい制度である。
- 問** 最低制限価格は構造的なデメリットがある。低入札価格調査に一本化しては。
- 答** 基本は低入札価格調査制度で実施。一本化は検討・協議する。
- 問** 平均落札率高止まりの改善に、失格基準価格の廃止や引き下げの検討は。
- 答** 建設業界の厳しい状況から「インフラの品質確保」「担い手確保」を鑑み、考えていない。
- 問** 入札監視委員会で提言された改革の反映成果は。
- 答** 建設工事の約9割が電子入札に。「労働環境把握チェックシート」や「労働賃金調査票」で下請業者にしわ寄せがないよう精査も行っている。
- 問** 発注や施工時期平準化については。
- 答** 年度をまたぐ工事は、継続費として複数年分の事業内容を初年度に契約している。
- 問** 入札不調の工事内容についての精査は。
- 答** 市場価格調査、見積徴取、設計金額の見直しや分割発注などを検討している。
- 問** 閉校後の跡地行政資産未活用での税支出の妥当性確保は。今後の利活用に向けた方向性、資産管理の移管について所見は。小規模多機能型居宅介護事業所、グループホーム、児童養護施設等の誘致はどうか。地域活動の機能は残しつつ、施設の面積、消防設備等要件を満たし補助金の活用も可能だが。
- 答** 施設隣接型小中一貫校推進連絡協議会で跡地利用の議論は統合後にすることになった。地域の発展を見据え、今後、市長部局とも協議し、体制を整え検討していく。

先進事例の調査視察

議会運営委員会

福岡県福岡市議会（八月六日）
議会運営について

福岡市議会は、全国トップクラスの議員提案政策条例の成立件数を誇り、条例制定により様々な効果が表れている。議員による政策条例の提案には、①執行部、部局単位に留まることなく全体最適の政策提案ができる、②十年先を見通

佐賀県武雄市議会（八月七日）
議会運営について

した計画の提案ができる、③地域や住民の要望を反映できる、④新しい政策課題を取り上げられる、⑤少数者の思いを掘り起こす条例を提案できる等の利点があることを学びとした。

佐賀県武雄市議会は、議会の見える化として、①加入率の高いCATVの活用、②一般質問時のモニターテレビの活用、③障害のある方にも見やすく対応するため、全国でも唯一の文字通訳ライブ配信に取り組むこと

により、議会に対する市民の関心度が高いことを学びとした。



議会運営委員会

◆「声の議会だより（市議会だよりの音声版）」のホームページ掲載を始めました ◆

飯能市議会では、視覚等に障害のある方が、議会活動等の情報を容易に得られるよう情報のバリアフリー化を目指し、平成30年8月1日発行号から「声の議会だより(市議会だよりの音声版)」のホームページ掲載を始めました。



吾野小学校



市民から 市議会へ提出

請願

○の中の数字は請願番号

③ 東海第二原発の運転期間延長を認可しないよう原子力規制委員会に求める意見書の提出に関する請願
趣旨採択（全員）

提出者

原発とめよう飯能

代表 平賀 千草
外二百二十二名

陳情

○の中の数字は陳情番号

② 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情

提出者

移植ツーリズムを考える会

埼玉県担当 澤岡 楊子

③ 自衛隊の訓練を飯能市内で認めないことを求める陳情

提出者

代表 川野 安紀子
外七名

④ オスプレイの横田基地への配備の撤回を求める陳情

提出者

代表 長谷川 順子
外八名

市議会から 国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書（抜粋）

本年六月に大阪北部で震度六弱を観測した地震では、児童を含む五名が亡くなり四百名以上が負傷した。なかでも、学校施設のブロック塀が倒壊して下敷きになった児童が死亡したことは大変痛ましいことである。飯能市においても学校施設の耐震化は進められているが、通学路についても速やかに点検した上で、安全性確保に向けて改善を図ることが必要である。よって、国におかれては、次の事項について積極的な対応を求めるものである。

記

一 今回被災した地域においては、通学路のブロック塀等の

総点検・調査を緊急に実施し、危険箇所については、通学路の変更等の措置を含めた対応を徹底すること。

二 全国の通学路も緊急総点検調査を実施し、工事が必要な場合は、地方自治体に対する技術的・財政的支援を行うこと。一般家庭の塀でも支援する制度を検討すること。

三 学校施設の安全対策に要する費用に関する補助制度の創設等を検討すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、国土交通大臣あて

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書（抜粋）

今般、東京都目黒区で両親から虐待を受け女兒が死亡するという事件が発生した。このような虐待事案が近年急増していることを重く受け止め、政府は児童福祉法等を改正し、児童虐待防止対策を強化してきたが、今回の事案は、児童相談所が関与していたにもかかわらず救うことができなかった。よって、国におかれては、次の事項に取り組むことを強く求めるものである。

記

一 「児童相談所強化プラン」を早期に達成・拡充し、児童虐待防止体制を強化するプランを新たに策定するとともに必要な財源を講ずること。

二 子どもの問題を児童相談所に一極集中させている現状を改めること。

三 児童相談所間及び児童相談所と市町村の情報共有の全国共通ルールを定めるとともに、全国からアクセスできるシステムを整備すること。また、児童相談所と警察との情報共有についてもシステムを新構築すること。

四 全国共通ダイヤル「一八九」を児童虐待通告に限定し、通告の無料化の検討を含め、運用の改善に努めること。

五 保育所や幼稚園・学校と情報共有を図ること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員長あて

水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書（抜粋）

日本の水道は、拡張整備を前提とした時代から、既存の水道基盤を確固たるものにする時代に変化してきた。しかし、現在

の水道は、高度経済成長期に整備された施設の老朽化等に直面し、自然災害による水道被害は全国で頻発している状況にある。また、簡易水道事業は必要不可欠な社会基盤であるが、水道未普及地域の解消は大きな課題であるため、補助要件の緩和が求められるところである。よって、国におかれては、次の事項に取り組むことを強く求めるものである。

記

一 老朽化対策など、水道施設の更新等に全力を挙げ、国庫補助所要額を確保すること。

二 将来にわたり、安全な水の安定供給を維持するため、水道施設の管理者である地方公共団体等との連携を深め、広域連携の推進等の具体的な措置を講じることにより、水道の戦略的な基盤強化に取り組むこと。

三 厳しい財政状況の簡易水道については、未普及地域解消事業や施設の老朽に伴う更新事業等に必要国庫補助所要額の確保を行うこと。また、現行の国庫補助要件の緩和を行うこと。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣あて

市議会案内板

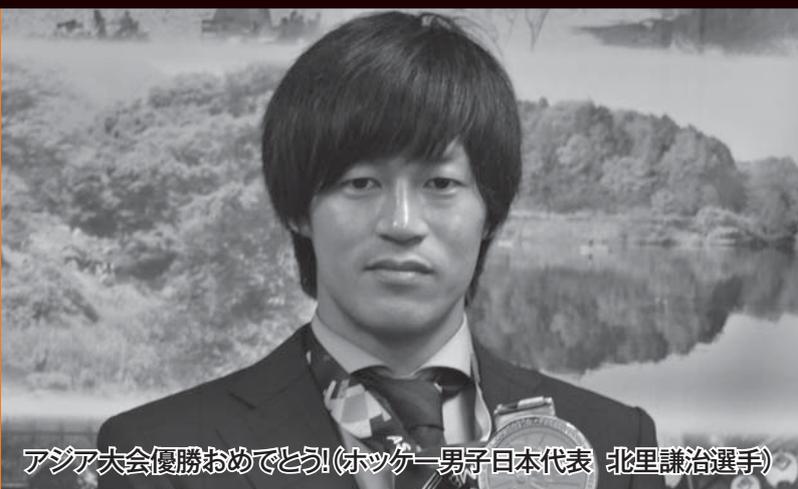
HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



アジア大会優勝おめでとう!(ホッケー男子日本代表 北里謙治選手)

審議の日程

9月定例会

- 9月 7日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
- 12日 議案質疑、議案及び請願の委員会付託
- 14日 常任委員会 (総務・厚生文教・経済建設)
- 18日 常任委員会 (厚生文教・経済建設)
- 19日 常任委員会 (厚生文教)
- 21日 一般質問
- 25日 一般質問
- 26日 一般質問
- 10月 2日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

7月

- 2日 広報委員会
- 17日 代表者会議
- 26日 代表者会議
- 30日 埼玉県都市競艇組合議会臨時会
- 31日 埼玉西部消防組合議会定例会

8月

- 2日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 21日 IT会議
代表者会議
- 28日 全員協議会

9月

- 4日 議会運営委員会
- 7日 第3回定例会 (10月2日まで)
広報委員会
- 13日 IT会議

10月

- 9日 広報委員会

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

☆ライブ中継をしています

市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問をライブ中継しています。

議会を傍聴しませんか

9月定例会では延べ181名の方が傍聴されました。

次回の12月定例会は
11月30日開会予定です。
会期日程等は11月27日頃内定します。

* 編集を終えて *

以前、アメリカ人とこんな会話をしたことを思い出した。

'How many eyes do you have?' と聞かれ、
'I have two.' と応えたら、'No, you have many.' と
言われた。実は、このeye (目) はI (私) という意味で、
日本語には沢山の「私」の言い方があり、世界でも
難しい言語のひとつであるとのこと。

広報委員会の仕事に議会だよりの編集があるが、
重要なことは如何に正確に議会内容を伝えるかで、
議事録を基に行う。その議事録は録音データを文章
化しているが、大変な仕事である。

最近、音声を瞬時に他言語に翻訳や文章化するア
プリ等があり、それを使えば議事録作成も簡単に
行えると思う。しかし、どこまで正確にできるか疑問
ではあるが？

(平沼)

広報委員(◎委員長 ○副委員長)

◎関田 直子 ○坂井 悦子 新井 重治
平沼 弘 松橋 律子 滝沢 修

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)
11/15~11/18、11/29~12/3、12/7~12/10

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711
(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。)